

水 土 里 レ ポ ー ト

| | |
|-----------|--------------------|
| 投稿月日 | 令和6年11月7日(木) |
| タイトル | 「田んぼの水はどこからくるの？」 |
| 水土里レポーター名 | 水土里ネット西津軽 事業課 三橋達也 |

令和6年6月13日(木)および18日(火)に、つがる市立柏小学校4年生44名が参加した野外学習会「田んぼの水はどこからくるの？」を、東北農政局北奥羽土地改良調査管理事務所、西北地域県民局、つがる市、青森県土地改良事業団体連合会など関係機関のご協力のもと開催しました。

この学習会では、家や学校の周りに広がる田んぼの水はどこからきているのかについて学ぶことを目的に、ダムや揚排水機場など農業用施設を見学し、地域の基幹産業である農業と土地改良区の担っている役割について理解を深めてもらいました。

子ども達は、普段目にすることがない津軽ダムや野木除塵機では機械に興味津々で見入っていました。また、平野揚排水機場ではポンプの始動音の大きさに驚きながら運転操作の体験を行いました。さらに、用水管理センターでは、業務で使用しているMCA無線を通じて現場の職員と会話をしたり、遠隔でのゲート操作を行い、どれくらいの水が水路に流れているのかなどの用水管理の仕組みを学びました。江戸時代に造成された用水路「土淵堰」を今も利用していることを説明すると、とても驚いていました。

当土地改良区では、今後もこうした野外学習会を通じて、私たちの仕事や役割を理解してもらおうとともに、用水路やため池での水難事故が全国的に多発していることから、『水が流れている場所はとても危険なので近づかない。遊ばない。』という啓発を、つがる市の未来を担う子ども達にしっかりと伝えていきたいと思ひます。



【 津軽ダムの見学 】



【 野木分水工の見学 】



【 土地改良区の仕事内容を説明 】



【 平野揚排水機場でポンプの運転体験 】